

特定非営利活動法人手賀沼トラスト 会報 第24号(発行日:平成25年7月1日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail:info@teganuma-trust.jp ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



(今年も見事に咲きました。ハチが写って居るのが分かりますか?)

農事・農教室活動報告

有機栽培農業見学会

遠田 勲

6月22日(土)、農教室特別コース「有機栽培農業見学会」に参加しました。特別コース受講者以外の手賀沼トラストの会員にも参加を呼びかけ、41人の団体となりました。九州上陸の予想もあった台風4号も、22日は温帯低気圧になり、「台風が来なかったのも偏に皆さんの…」との遠藤理事長のバスの中での挨拶のように幸先の良いスタートでした。

10時半、館野農場に到着。館野さんは、私たちの対応の前に小・中学生に「田植え体験」(恒例の由)をしてもらう一仕事を終えた後でした。休む間もなく私たちを田んぼへ案内、説明してくれました。曰く、

- ・ 8haで、無農薬、無化学肥料で5品種の稲作をしている。陸羽132号もある。
- ・ ポット育苗で、4月に種蒔き、6~7月に5葉以上の成苗で田植えをする。
- ・ 雑草対策の「春草田んぼ、春に雑草を育て、田植えの前に鋤きこみ肥料とする。レンゲは肥料分が多すぎるので使わない」をしている。雑草以外与える肥料は米ぬかのみ。
- ・ 小麦も無肥料で育てる。今、刈り取った後、藁を鋤きこみ肥料にし、田植えをする。有機農業は慣行農法と違うので苦労された話を聞きました。

昼食後、稲葉さんの農場へ移動し、畦道で話を聞いていたら突然の夕立。びしょ濡れで講義室のある棟へ逃げ込んだ。稲葉さんは「スクールの通り道」と言っていた。夕立より迫力がある稲葉さんの講義は「忍び寄る農業と放射能汚染」曰く、

- ・ 「コウナリ、トキが全滅したのは農薬で益虫・害虫を皆殺したため。
- ・ 昔の農業は虫を直接殺したが、ネオニコチノイドは神経系に働き、蜜蜂の大量死事件を起こした。胎児、小児の脆弱な発達脳への影響が懸念される。
- ・ プリンス(フィプロニル農薬)は長時間残効し、西日本の赤とんぼはいなくなった。
- ・ 農薬に頼らず温湯消毒(60℃で7分)、肥料過多でない健康なイネ、作期、水位コントロール、2回の代掻きで雑草対策をする等の話をいただいた。

時間の関係で、館野さんには原木椎茸栽培の見学、稲葉さんにはグリーンオイルの話が聞けなかったのが残念でした。

有機農家の館野廣幸さんを訪問した時の感想です。

私たちが訪問したとき、ちょうど田植えの真っ最中の時期でした。普通より1ヶ月近く遅い田植えです。これは館野さん独特の「春草田んぼ」というやり方で、普通の田植えの時期に田んぼに思いっきり雑草を生やし、雑草が大きく育ったところで、これを田んぼの肥料に利用してしまおうというものです。

厄介者の雑草を敵にせず、むしろこれを味方にして肥料に利用してしまうというアイデアにとっても感心させられました。館野さんは、雑草のことをよく研究され、雑草のことを知り尽くしており、農薬や化学肥料を使わず「自然の力」を利用したこれぞ有機農業であると思いました。

収穫したお米は、殆ど近隣のお得意様に一般より少し高い値段でも売れてしまい経営的にも成り立っています。日本中にこのような形の農家が増えれば食料自給率も上がり、日本の食糧問題も解決するのではないかと思います。

サツマイモの植付け

齊藤 まさ江

6月8日(土)はサツマイモの植付け実習です。始めに安倍講師よりサツマイモの由来、生育温度、土壌条件等が説明され、ベニアズマ苗500本を植え付けるため、畝幅70cmの単条を7畝作りしました。次に鍬で施肥した上に土を盛り、20cmの高畝をつくり、株間20～30cm、頭を東に向けて船底挿しで植え付け、中央を手で押さえて終了です。私も2週間前に自分の畑に30本、同じ方法で植え付けましたが、今年は雨が降らず、3回水をまきやっとな活着してホッとしています。秋には毎年恒例の芋ほりを二人の孫と楽しんでます。収穫したサツマイモは焼芋、大学芋、天ぷら、スイートポテト等にして食べますが、去年、農教室で教えていただいた干芋作りを紹介します。

① 小さめのサツマイモを洗います。② 丸のまま皮付きで水の状態からゆっくり30～40分蒸し上げる。③ 皮を厚めに剥き、丸のままか半分に切り、ザルに広げる。④ 天日で3～4日干すと出来上がります。甘みが増しやわらかいので、是非秋には皆さん作ってみてください。

入会して4ヶ月！

丹羽 重之

6月8日、曇り。3月9日に始まった農教室も4ヶ月にはいる。今日の作業はサツマイモとニガウリの植付けである。まず、農作業の前に毎回行われる先輩諸氏による青空教室での小講座に耳を傾ける。

同じモでも、サトイモがアジア原産で日本では古代から栽培されていた一方、ジャガイモやサツマイモは、コロンブスの新大陸到達以後に、南米アンデスやメキシコからヨーロッパ経由で伝えられたとのこと。日常の食材が日本や世界の歴史と関係していることの面白さを改めて感じる。

今回植えるサツマイモはベニアズマである。畑を30cm程度掘り起こして高畝を作る。鍬の使い方は先輩の指導のいかにもあって段々慣れてきたが、10分も続けて作業すると、日頃の運動不足のせい息が切れる。堆肥、鶏糞を撒いて苗を植えるのであるが、芋が多くつくという船底挿しで行った。

ニガウリの植付け。わがチームでは、サツマイモの植付けの後にニガウリの植付けを行った。私が事前に受け取り、自宅の容器で蒔いた種8粒は白いカビに覆われ、結局芽吹くことはなく、農教室に持ち込むことは叶わなかった。もちろん今日は30cm以上に育ったポット苗が用意してある。作業として、①穴を掘っての支柱立て、②蔓を這わせるためのネット張り、③ポット苗の定植と蔓のネットへの誘引、④鶏糞撒き、⑤乾燥防止のための藁マルチ、⑥株もとへの灌水などを行った。と書けばなんでもないことだが、すべての作業が始めて経験することで新鮮であった。

自分の植えたものの成長と収穫が楽しみである。

早起きになりました

古田 浩之

最近、早起きになりました。歳のせいなのか？ いえいえ、早起きになったのは今年から始めた手賀沼トラスト農教室のためです。花の金曜日は早々に切り上げて土曜日の農教室に備えます。生まれて初めての農作業です。

今回は薩摩芋の植付けとニンジンの草取りです。今日も一日体力・体調と相談しながら張り切って行きましょう！ところで、八千代市住民である私は、国道16号線を車で移動していますが、早い時は30分くらいで到着します。しかし、渋滞になると時間が読めず、1時間以上掛かることもあります。農教室は8時半のスタートなので、7時に出発すれば問題ありませんが、渋滞に巻き込まれると遅刻です。そこで早起き、6時半に家を出て早めの到着。早すぎて、手賀沼を散歩したり、道の駅で体操、バードウォッチング等で時間調整です。

話を戻し、今日の農作業です。薩摩芋！ 皆さん好きですよね？ あまり嫌いな方にはお目にかかりません。昔は「イシヤ〜キイモ、ヤキイモ〜♪」のメロディーに乗せてリヤカーで焼芋を売っている光景をよく目撃しましたが、最近は全く見かけなくなりました。美味しい薩摩芋を想像しながら、植付けをレポートします。

① 鍬をとり、畑に一直線の溝(15cm程)を掘る。気持は一直線ですが、思い通りにはことは運ばず苦労します。② 掘った溝に牛糞と油粕を撒きます。③ 休憩、これ大事です。疲れたり気分が悪くなったら、遠慮なくいつでも休憩をとりましょう。無理して倒れたり、農具等でケガしたのでは、元も子もありません。④ 苗の植付けです。じえじええ、苗には根っこがありません！ 数枚の葉のついた30cm程の苗を「船底植え」(初めて聞く言葉)しました。今日は薄曇りで暑さもさほどでもない畑日和でしたが、日頃の不摂生の賜物？ 少しの農作業で直ぐへトへト、水分補給を忘れずに！

私の故郷は、大阪府中河内郡牧岡町(現在の大阪府東大阪市)で、大阪平野の東側に位置し、奈良県と境を接している生駒山地の麓にある町です。牧岡の名称は、河内一宮・旧官幣大社(現在は神社本庁の別表神社)の牧岡神社から採られたものです。当地は、生駒山の麓から中腹にかけての町で、急な坂道の多いところであり、市街地からはすぐに牧岡公園へと続いており、閑静な佇まいをしている街並であります。

生駒山は、標高 642m の山で生駒山地の主峰であり、1958 年に金剛生駒国定公園に指定され、それと同時に牧岡公園も国定公園に指定された。山頂や中腹には大阪府と奈良県をカバーする各テレビ局の送信所が設置されており、山腹には現世信仰で知られる宝山寺を中心として、滝の修行場や祠など大小さまざまな宗教施設が設けられている。山上には生駒山遊園地が開設されている。山上への交通は、近鉄奈良線生駒駅から、生駒鋼索線が通じているほか、信貴生駒スカイラインを利用すれば車で登ることも出来ます。自然や歴史的な文化財に恵まれ、府民の森を中心に森林浴やバードウォッチング等で楽しむことも出来るハイキングコースが整備されています。

生駒山からの夜景は、信貴生駒スカイラインのほぼ中間点にある「鐘の鳴る展望台」が大阪平野と奈良盆地を 360

度パノラマで一望することができ、特に大阪平野のパノラマ夜景は視界を遮るものも無く、宝石を一面にちりばめたように圧倒的な光量で輝き、まるで光の絨毯のようで、多くの人たちが楽しんでいるようです。

牧岡公園は、面積が約 43.4ヘクタールあり、梅や桜、紅葉の名所としても有名です。牧岡公園の梅林はかおり風景 100 選の一つとされているほど、紅梅や白梅など約 30 種類で約 400 本の梅があり、自然の中の梅林というより都会の隅の梅林といえるようです。

牧岡公園のなかの一角に由緒ある牧岡神社があります。牧岡神社は、社伝によれば、神武天皇の侍臣で中臣氏の支流の平岡連(ヒラオカノムラジ)の氏神とされた由緒ある神社であります。その秋祭りには、ふとん太鼓とよばれる太鼓台を約 50~70 人ほどで担いで、その太鼓台の中には大太鼓と小太鼓があり、「乗り子」と呼ばれる少年 4~8 名が舞台化粧並みの厚化粧で豪華な衣装を着て、撥で敲くのである。境内には何台ものふとん太鼓が並び、それらから敲かれる太鼓の音が、秋の夜空に響きわたり幽玄さを醸し出し、身体の芯にまで轟く勇壮さでありました。

「私の故郷」についての投稿で、故郷について少し勉強しましたが、「故郷は遠きにありて思うもの」といわれているように、懐かしく思い出しながら書くことが出来ました。

「手賀沼トラスト展&日暮朝納氏遺作展」に寄せて

坂巻 宗男

平成 20 年 8 月、手賀沼トラスト前代表の日暮朝納さんが急逝されました。自らが立ち上げた手賀沼トラスト創立 10 周年のイベントを企画し、進めようとしていた矢先の出来事でした。会員の誰もがこの悲報をすぐには受け入れることができませんでした。

私と日暮さんとの出会いは、恐らく 30 数年前に遡ります。当地元の「めばえ幼稚園」に通っている頃、サツマイモ掘りに訪れた時が最初です。(しかし、この時の記憶はほとんどありません。) 親しくお付き合いさせて頂いたのは、「手賀沼トラスト」に参加した頃からです。

日暮さんの活動は、自らの所有地である樹林地(根戸城址)や農地を市民に開放し、一緒になって、この自然環境を守っていこうというものです。イギリス発祥の「ナショナルトラスト」にヒントを得たことから、「手賀沼トラスト」として活動が始まりました。

お米作り、ソバ作り、ハス田の整備、杉の間伐、竹炭づくり、上総掘りでの井戸掘りなどなど、色々な作業が目白押しでした。沼のほとりで暮らすということは、沼を眺めているだけでなく、このように土や泥や草や樹木と向き合うことだと知りました。

この手賀沼トラストの活動として今から 7、8 年前(平成 18 年頃)に蛍の復元を手がけたことがあります。斜面地の湧き水を利用し、蛍の幼虫を育て、見事に蛍は羽化しました。日暮さんはその時、「親父さんとの約束が果たせたよ」と私に言いました。

日暮さんと私の父は旧知の間柄でした。かつて父は「我孫子の野鳥を守る会」の会長として我孫子市高野山で「蛍池」を整備していました。この蛍池がなくなってから、どこかで同じように蛍を復活させて子どもたちに見せたいと日暮さんに話をし、二人で根戸城址周辺の湧き水などを探索したりしていたのでした。その後、私の父は平成 7 年に亡くなるのですが、日暮さんはそのことをずっと気にかけ、いつかどこかで蛍の復活をと思い続けてくれていたのでした。

日暮さんが亡くなってから 5 年。あの時、10 周年イベントはできませんでしたが、今まさに 15 周年イベントが様々な形で花開こうとしています。それもこれも、みんな日暮さんの播いた種と言っても過言ではありません。

沼のほとりに生き、その素晴らしさを後世にも伝え残そうとした日暮さん。その思いを受け継ぐのは私たちです。

※【農地法解説】「農地法その 2」は次号に掲載します。(事務局編集担当)

● 7月～8月度 活動計画 (※ 全会員が対象の「合同活動」、「イベント」等に「網かけ」をしています。)

活動日	開始時間	活動区分	活動内容	担当部門
7 4 木	13:00	合同活動	展示会展示物搬入準備	15PJT
7 5 金	9:00	合同活動	展示物搬入・設置、13時00分展示会オープン(～10日)	15PJT
7 7 日	8:30	定例活動	根戸城址、ハス田、ミカン山、養蜂管理	環境保全G
7 10 水	10:00	合同活動	展示会最終日、展示物搬出、会場清掃	15PJT
7 11 木	9:00	合同活動	展示会展示物後片付け	15PJT
7 13 土	8:30	農教室	スイカ、枝豆収穫、ネギ定植、各圃場管理(田んぼ含む)	農事農教室G
7 14 日	9:00	合同活動	案山子作り(一般応募者)	交流事業G
7 20 土	8:30	合同活動	案山子作り(トラスト会員)	交流事業G
7 21 日	8:30	定例活動	周辺清掃、根戸城址、ミカン山、ハス田、養蜂管理	環境保全G
7 25 木	9:00	竹教室		環境保全G
7 27 土	8:30	合同活動	案山子設置	交流事業G
7 27 土	8:30	農教室	トウモロコシ収穫、各圃場管理	農事農教室G
7 28 日	9:00	農教室	特別コースセミナー	農事農教室G
	18:00	会議	H25年度第4回定例理事会	事務局
8 4 日	8:30	定例活動	根戸城址、ハス田、ミカン山、養蜂管理	環境保全G
8 10 土	8:30	農教室	ミニカボチャ、ニガウリ収穫、各圃場管理	農事農教室G
8 18 日	8:30	定例活動	根戸城址、ハス田、ミカン山、養蜂管理	環境保全G
8 24 土	8:30	合同活動	第4回案山子祭り	交流事業G
8 25 日	18:00	会議	H25年度第5回定例理事会	事務局
8 29 木	9:00	竹教室		環境保全G
8 31 土	8:30	合同活動	ソバ播種	農事農教室G

第4回かかし祭りのご案内

恒例になった「かかし祭り」も今回で4回目になります。今回は創立15周年を記念するイベントとして、賑やかに楽しみたいと思います。また、我孫子市の小学校の他に近隣の柏市立第5小学校、柏市立富勢小学校の皆さんもお誘いしました。下記の要領で実施しますので奮ってご参加下さるようお願いいたします。

【かかし作り】

- ・ 日 時: 7月14日(日) 9時00分(一般の皆さん)
7月20日(土) 9時00分(会員の皆さん)
(雨天の場合はそれぞれ翌日に順延します)

- ・ 会 場: 日暮会場

【かかしの田んぼへの設置】

かかしの田んぼへの設置は7月27日(土)9時から合同活動で行います。(雨天の場合は翌日に順延)

【かかし祭り】

- ・ 日 時: 8月24日(土) 9時～12時
- ・ 場 所: 日暮会場及び田んぼ
- ・ 内 容: 田んぼの生きもの観察、昔遊び、スイカ割りカキ氷など。

【会員の皆様へ】

童心に返って、子供達と楽しい時間を過ごしては如何!
15PJT(かかし祭り担当)

お知らせ

「さがそう！我孫子のいろいろ八景」(其の二)の募集が始まりました。昨年度の「公園八景」「坂道八景」「成田線車窓八景」に続いて、「まちなみ八景」「ハケの道八景」「斜面林・田園八景」をテーマに7月1日から8月31日の期間、募集しています。今回は私たちの活動場所にピッタリのテーマがあります。皆さん応募してみても如何でしょうか？ 詳細は我孫子市ホームページ、手賀沼トラストホームページをご覧ください。

我孫子のいろいろ八景選考委員に当法人の桐石理事が就任しています。
(事務局)

ありがとうございました！

- ・ 日暮知男さんから寄付(5,000円)を頂きました。

編集後記

◆ 7月5日(金)から手賀沼トラスト展&日暮朝納氏遺作展が始まりました。14日、20日はかかし作り、8月24日(土)にはかかし祭りが開催されます。大きなイベントが目白押しです。

◆ 今日(7月6日)梅雨明け宣言が出たようです。今年の夏は暑くなりそう。老骨には辛い季節の到来ですが、日頃畑で鍛えたこの身体、何とか乗り切りたいものです。

◆ 農教室の新入会員の皆さんもこれからが正念場、お互いに頑張りましょう。
(國方記)